

平成30年度北海道地区7国立大学法人工事入札監視委員会定例会議議事要旨

開催日及び場所	平成30年11月12日(月) 北海道大学事務局2号館 大会議室	
委員	委員長 岸浪 建史(学識経験者) 委員 石川 信行(公認会計士) 委員 菊地 均(名誉教授) 委員 佐藤 昭彦(弁護士)	
審議対象期間	平成29年10月1日～平成30年9月30日	
抽出案件(合計)	5件	(備考) 今年度の委員長は、昨年度の互選により岸浪委員に決定している。
工事(小計)	5件	審議を開始するに当たり、佐藤委員から、今年度の審議対象案件の抽出の考え方について説明があった。 抽出案件の個別審議については、各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。 現委員の任期は平成31年9月末をもって満了し、岸浪委員長、菊地委員、佐藤委員については再任を承諾、石川委員については再任が難しく、後任は今後手続を経て決定する旨周知があった。 次回開催時の案件抽出について、菊地委員が指名された。
一般競争 (調達協定対象工事)	0件	
一般競争 (政府調達協定対象工事を除く)	5件	
通常指名競争	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務	0件	
委員からの意見・質問、それに対する意見等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	個別審議の対象として5件を抽出しているが、10件程度を抽出した上で大まかに確認し、その中で詳細な確認を必要とするものを集中的に審議することとしてはどうか。 個別審議の対象案件を無作為抽出により選定したが、点検事項に至った理由についての資料を確認してから選定することとしてはどうか。	

質 問	回 答
<p>1. 審議対象件数及び契約金額一覧について (基幹校より説明)</p> <p>・特になし</p>	
<p>2. 点検事項該当案件一覧表について (基幹校より説明)</p> <p>・特になし</p>	
<p>3. 抽出案件の考え方について (岸浪委員長より説明)</p> <p>・特になし</p>	
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 <u>(2) 競争入札において1回目の入札で落札率が99%以上の工事</u></p> <p>1. 【北海道大学】理学部5号館(高層棟)南面外壁改修工事</p> <p>・ 予定価格の算定において3者から参考見積を徴収したとのことだが、その3者とは入札に参加した業者と同じか。</p> <p>・ 落札者和其他の入札参加者とで、入札金額の差異は工事費内訳のどの科目で生じているのか。</p> <p>・ 共通仮設費、現場管理費、一般管理費、法定福利費についての内訳はないのか。</p> <p>・ この建物を建造して何年経過しているのか。</p>	<p>・ 入札参加業者ではなく、ネット工法の施工業者から参考見積を徴収した。</p> <p>・ 金額の差異は、施工業者との交渉や施工実績等による値引率の違いというものが影響していると推測している。最も差が大きかったのは、モルタル、外壁のタイルの剥落防止補修にかかる部分である。</p> <p>・ 金額の内訳はない。</p> <p>・ 経年19年である。</p>
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 <u>(1) 競争入札において応札者が1者のみの工事</u></p> <p>2. 【小樽商科大学】1号館等外装改修工事</p> <p>・ 初度入札金額と落札金額とで122万円の差が生じているが、内訳のどこを変更したものなのか。</p>	<p>・ 再度入札金額の内訳については、提出を求めているため詳細はわからない。</p>
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 <u>(3) 落札率が50%以下の事業</u></p> <p>3. 【北海道教育大学】照明設備工事その2</p> <p>・ 落札金額と予定価格とで差異が生じた要因は材料費の単価にあるようだが、ある程度決まった単価というものがあるのではないか。</p> <p>・ 発注したLED照明機器のスペックと、落札業者が設置を予定するもののスペックは同等か。</p> <p>・ 函館校と札幌校を一括して発注しているが、別々に発注するということもあり得るのか。</p>	<p>・ メーカーの決める定価はあるが、取引量などの条件が実勢価格に影響するので、査定率を決めて予定価格を算出している。一定の単価というものではない。</p> <p>・ 設計図においてスペックを示しており、要求を満たしたものであることは確認できている。</p> <p>・ あり得る。今回の工事については、「照明設備工事その1」において各キャンパスをまとめて発注した経緯があり、同様に一括の発注とした。工事の内容が照明器具の取替であり、工種として単一で、技術的なハードルが高くないことも、一括の発注とした理由である。</p>

質 問	回 答
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 (1, 4) 競争入札において応札者が1者のみで、入札参加者に対して低入札業者の割合が80%以上の工事</p> <p>4. 【北海道大学】(厚岸) 学生宿泊棟煙突改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般管理費及び現場管理費において、応札額と予定価格に大きな差が生じた原因は何か。 <p>・厚岸町において、アスベスト除去を受注できる業者はどの程度あるのか。</p> <p>・最低価格入札者が一般管理費及び現場管理費を削減できた理由についてより詳しい説明は可能か。</p> <p>・アスベストの処理について、運搬費と処分費が計上されているが、それぞれの業務内容はどのようなものか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格は全て積算基準に基づいて積算しているため、差異は業者の企業努力によるものと考えられる。当該工事は労務費の割合が高いため、業者が抱えている工事の状況等が応札額に大きく影響する。 ・札幌から遠方ということに加え、全道的に施工業者が不足している状況がある。また、参加資格としてアスベスト除去工事の経験を求めているが、地元業者ではこの経験が少なかったものと考えている。 ・工事施工に当たって、より安価な宿泊場所を用意したことや、各種届出を同日に集約することによって、届出の都度発生する交通費・宿泊費などを企業努力により削減したということである。 ・運搬費とは、市町村で決められているアスベストの埋め立て場所まで運搬するための費用であり、処分費とは、指定された専用の袋にアスベストを収納して埋設処分する費用である。
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 (4) 入札参加者に対して低入札業者の割合が80%以上の工事</p> <p>5. 【旭川医科大学】福利施設屋上防水改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防水塗装において、基準を満たしているかどうかをどのように評価しているのか。 <p>・入札に参加した2者の中で、入札金額の差異が小さいのはなぜか。</p> <p>・旭川市において、防水加工ができる業者はどの程度あるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図面に記載したAS-T1という仕様を満たしているかを判定している。 ・工種が限られており、見積項目も少なく、同じ市内の業者であるため似た金額となったと考えられる。 ・何社あるのかは把握していない。